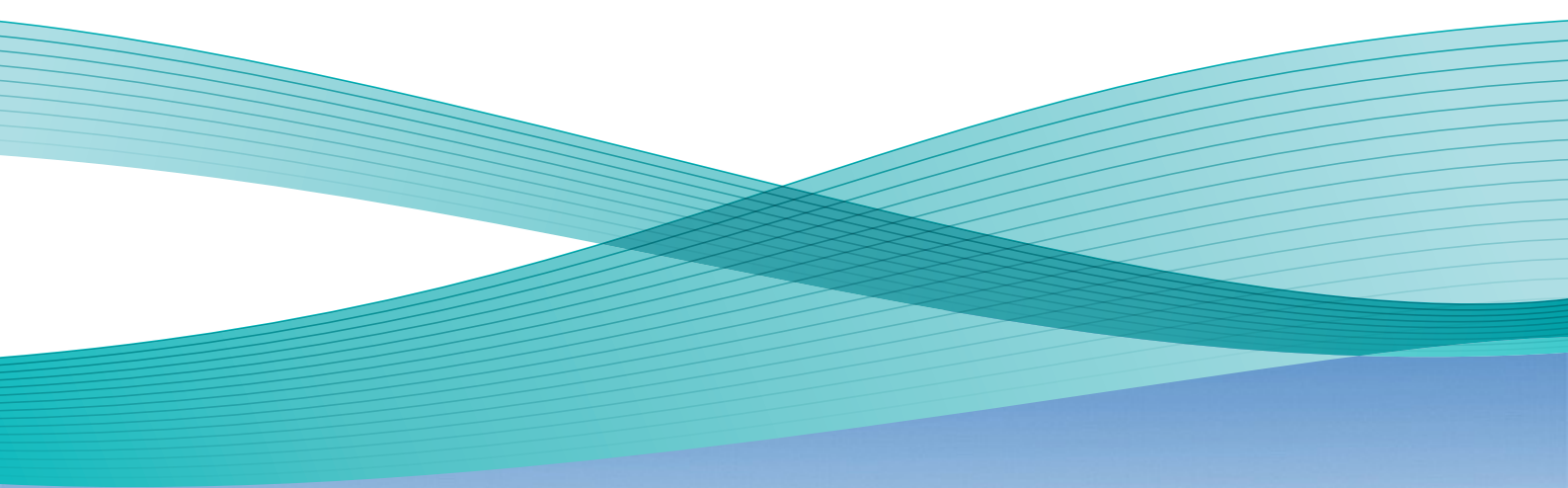


【ArcSuite 導入事例】

株式会社電溶工業様



【ArcSuite 導入事例】

株式会社電溶工業

設計者が使いやすく利用しやすいシステムを最優先に考えました

EDMICS の導入経緯についてお聞かせください。

98 年頃に過去図面からの流用設計の推進と出図の一括指示を図る目的で、システム化の検討をしていました。

出図業務については、人海戦術で行うことも可能でしたが、受注生産という形態のため月度単位で業務量のバラツキが大きく、効率とコスト面からシステム化が必要でした。

また流用設計については、設計者の業務効率化のためには流用率は継続して向上させる必要があり、そのための施策が必要でした。

いくつかのメーカーのソフトウェアを検討しましたが、その中から富士ゼロックスの EDMICS2000 を採用しました。選定した理由は、出図の一括指示が簡単にできること、CAD との連携が容易にできることです。

EDMICS をご利用いただきました当時の効果についてお聞かせください。

1) 流用設計の推進

CAD からの電子図面を登録する際、属



システム課 矢巻和明 課長

性を付与して登録する仕組みを構築したことにより、過去図面を簡単に検索できるようになり流用設計に大きく寄与しました。

2) 出図工数の低減

出図担当者が 3 名から 1 名に削減できたことで、大きく効果を上げられました。

3) 出図納期の短縮

従来 1 時間かかっていた出図が、15 分という短時間でできるようになりました。

4) 出図に対する設計者への負荷低減

出図作業は、設計者に指示内容をチェックしてもらうだけで、正規な出図が保証され、さらに設計者への負荷低減にもつながりました。

5) 出図スタンプとサインの自動押印

従来は出図時に図枠の外に「枠」を押印して、その中に「作番」を手書きしていましたが、枠と内容を図枠外に自動押印する仕組みを作ることができました。

6) 出図作業の自動化

従来、複写出図を行い、設計者が A4 から A0 サイズまでの図面をすべて A4 サイズに紙折りを行っていました。しかし EDMICS と BtainTech8181 α を連携することで、紙折りと仕分けを自動で行



技術部設計課 久保田千宏 課長

えるようになりました。

EDMICS 利用時の課題はありましたか？

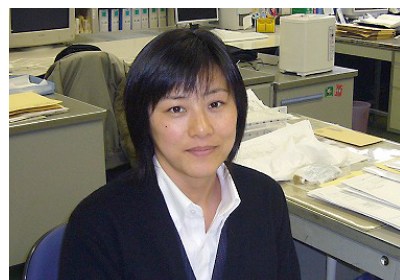
実は、すべてがうまくいっていたわけではありません。

まず図面登録についてですが、CAD からの電子図面化の他に、過去の紙図面の 100% 電子化にも取り組みました。しかし、この件については徹底ができず、出図オーダーが入った時に複写とともに電子化をしたため、おおよそ 80% の図面の電子化に止まりました。

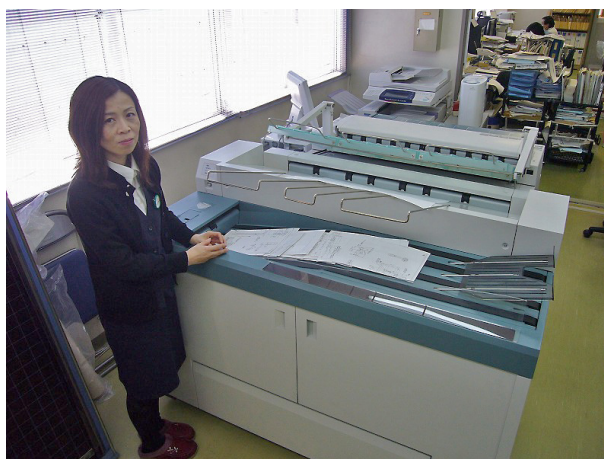
また出図指示についてですが、当初、電子出図がなされませんでした。

理由は、システムが UNIX という OS であったために設計者が難しく使えませんでした。そこで、システム課の矢巻課長が別途入力ウィンドウのシステムを作り、そこから出図手配できるようになったため、何とか利用されるようになりました。

また EXCEL の部品表からの出図の仕組みを作りましたが、時に見間違いや抜け漏れが発生したり、部品表のリストと図面の順番が一致していない事がありまし



ArcSuite 一括印刷担当 小川 恵 様



DocuWide6050 オペレーション担当の有賀智恵子様

た。これは、作業の徹底を図ることで対応しました。

登録作業に関して、課題があったとお聞きしましたが…

CAD から EDMICS への登録は自動化していましたが、当初想定した属性項目が後に足りなくなり追加しようとしていました。しかし、CAD ベンダー側と追加開発をうまく進めることができず、属性項目が不足したままの利用となり不便さを感じていました。

また、紙図面の登録では EXCEL を使った属性登録の仕組みを作りましたが、CAD からの登録操作に慣れている設計者からは使いづらいとの評価をされ、なかなか作業を行っていただけませんでした。

ArcSuite への移行に際してご検討されたことは何でしょうか？

前述のように EDMICS を使ってきましたが、富士ゼロックスの営業から EDMICS の保守が終了する旨の話があり、新しいシステムへの移行を検討しました。検討ポイントとして、設計者が使いやすい利用してもらえるシステムを最優先に

考えましたので、操作性と EDMICS 以上の仕様が提供できるシステムという条件で数社検討しました。

そして、その条件を有しているのが ArcSuite Engineering でした。

何度も数社のシステムをデモンストレーション等で調査を重ねましたが、CAD 登録、図面管理、電子一括出図、それぞれの機能の完成度は ArcSuite Engineering が高かったと判断しました。確か、当時は紙折りと仕分けまでを自動化できるのは富士ゼロックスだけだったと思います。

ArcSuite をご利用いただいた感想はいかがでしたでしょうか？

正直申し上げて、導入当初、出図処理に関して機能的に劣るところがありました。弊社の出図処理は、図面毎に異なる押印をし、図面を束ねて出図します。以前は一括自動出図ツールを個別に開発し対応していましたが、ArcSuite Engineering に移行後は、マトリックスクライアントという標準ソフトで対応しました。しかし、その出図処理に対する機能不足に気付きませんでした。

その後、富士ゼロックスの対応により、

この機能は補うことができるようになり問題はなくなりました。

その他は、EDMICS でできていたことはすべて対応しており、また Windows システムに変更したことで、操作面についても設計者により利用してもらうことができました。

今後の新たなお取り組み計画についてお聞かせください。

ArcSuite Engineering を利用していて、現在の課題は、スキャナ登録をもっと簡単に行いたいです。

標準の操作においては特に問題はありませんが、文書登録の計画があり、より一層の簡単で軽快な作業環境を作り、活用度を上げたいと考えています。

また、CAD からの属性登録項目の不足については、まだ施策がありません。

富士ゼロックスから提案されている入力用の帳票システムを活用して、CAD へも ArcSuite Engineering へも簡単に属性登録できるツールの開発・展開を検討しています。

会社概要

株式会社電溶工業

創 業：昭和42年12月

資本金：4000万円

主要取扱製品：

サーボスポットガン、トランス付ロボットガン、ロボットガン、マルチガン、ポータブルガン、トランス・タイマーコンタクター内臓ポータブルガン (IT Gun)、定置形スポット溶接機、溶接トランス、各種マルチ溶接機、フラッシュバット溶接機、各種タイマー、各種治具、各種電極、各種2次ケーブル

本社・工場：

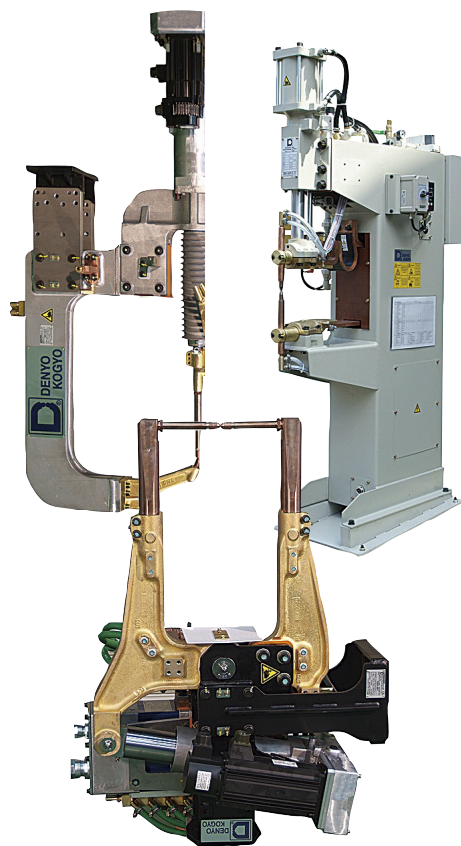
〒409-3853

山梨県中巨摩郡昭和町築地新居

釜無金属工業団地内 1648-5

TEL：(055)275-6811 (代)

FAX：(055)275-6810



●エンジニアリングソリューションの情報は、インターネットでどうぞ

URL <http://www.fujixerox.co.jp/solution/engineering/>

富士ゼロックス株式会社

●お問い合わせは担当営業へ…

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

Tel 03-6271-5111

<http://www.fujixerox.co.jp/>

FUJI xerox 